

20th Anniversary
 ありがとう20年 これからも
 アルカスSASEBO
COMPASS
 [アルカスSASEBO 情報誌:コンパス]

秋
 Autumn
 2020
 10→12

アルカスSASEBO
COMPASS

秋
 2020

10→12

令和2年10月1日発行 [編集・発行] 公益財団法人 佐世保地域文化事業財団



アルカスSASEBO開館20周年記念事業

ジャパネットPRESENTS

佐渡裕 指揮
 Yutaka Sado

シエナ・ウインド・オーケストラ
 Siena Wind Orchestra

アルカスSASEBO
 ジュニアオーケストラ通信 Vol. 32

6月から新型コロナウイルス感染拡大防止の対策をとりながら練習がスタートしました。今までは違う、新しいスタイルでの練習とはなりましたが来年3月に行われる第9回定期演奏会に向けて頑張っています。練習が再開した現在の様子についてヴァイオリンパートの坂口楓さんが語ってくれました♪

弦楽器セクションリーダー
 坂口楓さん(中3/ヴァイオリン)

私達は今、来年3月に行われる第9回定期演奏会に向けて練習を頑張っています。新型コロナウイルスの影響のため、長らく活動を休止している間、今まで当たり前練習できていたことの幸せと感謝を実感しました。第9回定期演奏会で演奏する曲目に「セント・ポール組曲」があります。この曲は、作者のホルストがロンドンのセント・ポール女学校で音楽教員を務めていた頃、防音装置設備つきの部屋を学校から与えられたことに感謝の意を表して作曲されました。私達もこのような状況の中で、練習ができることに感謝し、皆さまに最高の演奏を届けられるよう団員一同頑張りますので応援よろしくお願いします!!



共催:佐世保市、佐世保市教育委員会

- 私達は、アルカスSASEBOジュニアオーケストラを応援しています。
- 社会医療法人財団白十字会
 - 税理士法人 村田経理事務所
 - 和信産業株式会社
 - 親和銀行
 - 佐世保南ロータリークラブ
 - 三精テクノロジー株式会社
 - させぼ夢大学
 - 佐世保法人会 難部会
 - 株式会社メモリー
 - 株式会社豊味館
 - みなと建設株式会社
 - 株式会社岩 岩 岩
 - 株式会社九州信託
 - ANCS ヒビノアークス株式会社
 - TOSHIBA
 - 髯マゴオリ
 - TOG つきやま産婦人科
 - 伊藤園

アルカスSASEBOでは、ジュニアオーケストラをご支援いただくスポンサー制度を設けております。詳しくはお問い合わせください。

公式Twitter・Instagramはじめました!

@arkassasebo @arkas_sasebo

公益財団法人 佐世保地域文化事業財団
 〒857-0863 長崎県佐世保市三浦町2-3
 TEL0956-42-1111 FAX 0956-24-0051
 [営業時間] 午前10時~午後6時30分
 (施設申し込み、チケット販売・予約、アルカスクラブ受付)
 ※第2・4水曜日、年末年始(12月29日~1月3日)は休館となります。



ARKAS CLUB INFORMATION

アルカスSASEBOは、今年お蔭様を持ちまして、開館20周年を迎えており、令和3年3月1日に20歳のお誕生日を迎えようとしています。これもひとえに、市民の皆さまを始め、アルカスクラブ会員様として、様々な公演にご来場頂きました皆さまの支えがあったからこそと、深く感謝しております。そこで、残念ながら8月に予定しておりました会員謝恩企画は来年へ延期となってしまいましたが、「NHK交響楽団 佐世保公演」を会員謝恩企画として、実施させていただく事となりました!この機会に、是非お友達もお誘いの上、日本を代表するオーケストラサウンドを、お得にお楽しみください!

アルカスクラブ会員謝恩企画
 アルカスSASEBO 開館20周年記念事業
NHK交響楽団 佐世保公演



2021年3月6日(土) 開場16:00 / 開演17:00
 ■大ホール
 【全席指定】S席8,000円 A席6,500円 B席5,000円
 学生(小~大学生)各席2,000円 (当日500円増)
 【アルカスクラブ会員特別料金】※会員ご本人様のみ適用
 【全席指定】S席4,000円 A席3,000円 B席2,500円
 学生(小~大学生)各席1,000円 (当日500円増)

(出演) 下野竜也(指揮)、三浦文彰(ヴァイオリン)
 NHK交響楽団(管弦楽)
 (予定曲目)
 交響曲 第4番 短調 作品98(ブラームス)
 ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品77(ブラームス)
 「プロメテウスの創造物」より序曲
 (ペートルヴェー)

アルカスクラブ
 ゴールド会員先行発売
 11月28日(土)
 アルカスクラブ
 オレンジ・ホワイト会員先行発売
 12月5日(土)
 一般プレイガイド発売 12月12日(土)

アルカスクラブ会員募集!!

ホワイト	オレンジ
入会金/無料 年会費/500円	入会金/500円 年会費/3,000円
①チケット5%OFF	①チケット10%OFF
②割引購入枚数 2枚	②割引購入枚数 2枚
③会員先行販売(窓口のみ) 一般発売日から電話予約可能	③会員先行販売(窓口・電話予約) ④情報誌「コンパス」年4回送付
会員先行販売 一般発売よりも早く購入できます。	チケット割引 5%~10%OFF
希望者全員にFAX・メールで 新着情報のご提供	会員優待 会員限定企画
アルカスクラブ会員証を提示すると... 協力店での優待サービス!	

※チケットの割引サービス及び先行発売・予約はアルカスSASEBOが指定する催し(公演)が対象となります。 ※催し(公演)によってはチケットの発売枚数に制限がある場合がありますので、予めご了承ください。

- WEB ▶ 最新の公演情報はアルカスSASEBOホームページをご覧ください。
- MAIL ▶ メール会員も募集中!最新のチケット発売情報がお手元に届きます。
- f ▶ Facebookもやっています。「いいね!」を押してお気に入り登録を。

私達は、アルカスSASEBOの文化事業への協賛を通して地域文化の振興を支援するオフィシャルパートナーです。





2020年度、アルカスSASEBOでは生誕250周年を迎えたベートーヴェンについてスポットを当てご紹介しています。今回のNHK交響楽団公演では、ベートーヴェンと共に、ドイツ音楽における三大Bとも称され、ベートーヴェンを崇拝していたとも言われるブラームスの名曲と共にお届けします。指揮者下野竜也さんにブラームスの交響曲について、そしてソリストの三浦文彰さんにはヴァイオリン協奏曲についてお話を伺いました。

ヴァイオリンの華やかさが ちりばめられている大好きな作品

ブラームスの協奏曲は、私の大好きな曲の一つです。私は、どの作曲家の協奏曲も、室内楽の規模が大きくなったものと考えて演奏します。

この協奏曲のオーケストラパートは、多くの他の協奏曲に比して、ソリストの伴奏といった箇所がほとんどないと言っても良いほどオーケストレーションが素晴らしいです。全ての楽器がバランス良く際立っている、いわば交響曲のようなものです。2楽章では、冒頭のオーボエのソロが本当に美しいです。

そして、ブラームスの協奏曲で忘れてならないのがヨアヒム*の存在です。偉大なヴァイオリニストであったヨアヒムが、ブラームスに近い関係だったからこそ、ヴァイオリンという楽器の華やかさがちりばめられており、1楽章のカデンツァ*も素晴らしいです。今回、アルカス SASEBOにてマエストロ下野、NHK交響楽団の皆様とブラームスを演奏させて頂けることを心から楽しみにしております。

三浦文彰



©Yuji Hori

※ヨーゼフ・ヨアヒム(1831- 1907年)
オーストリア＝ハンガリー帝国のヴァイオリニスト・指揮者・作曲家。ブラームスと親交があり、彼のヴァイオリン協奏曲の作曲の際に助言をおこなったことは有名。
※カデンツァ
曲の終止の前に、独奏者が演奏技巧を十分に発揮できるように挿入された装飾的な部分。

7年ぶりにアルカスSASEBOに登場！

待望のNHK交響楽団が

「男泣きのホ短調」

この度、NHK交響楽団の皆さんと佐世保にお伺い出来る事大変嬉しく思います。アルカス SASEBOでの思い出としてはジュニアオーケストラの皆さんとの時間がとても印象に残っています。さて、今回はブラームスが遺してくれた4つの交響曲最後の第4番ホ短調を演奏します。53歳の頃の作品です。ご本人も大変お気に入り作品だとか。ブラームスが交響曲というジャンルを書くにあたって、よく知られるエピソードとしては、今回の演奏会でも取り上げるベートーヴェンの事を強く意識して、いえ、意識し過ぎてその重圧から数十年も掛けて第1番を完成させた事があります。

今回のベートーヴェンの「プロメテウスの創造物」は若い頃の作品ですが、その最初の音だけでベートーヴェンと分かる彼の好きな和音が刻印された名作です。

ブラームスに話を戻しますと、まだ、書く時間は残されていたのに、この第4番で終わったのは残念と思うのは後世の我々のわがままでしょうか？ この事に関しては、N響とも深い絆で結ばれていた巨匠ヴォルフガング・サヴァリッシュ*さんの「師であるシューマンも4曲だったから、これ以上は書けなかったのでは。」という話も印象深いです。

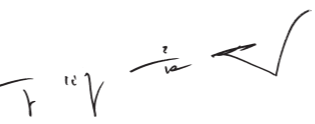
私が子どもの頃この曲を聴いていつも思ったのは、何故こんなに暗い調で、しかも、断絶された様な音で終わるのだろうか？ という事でした。1番や2番の様に明るく開放して終われば良いのに！と勝手な事を思っていました。3番は静かに平穏な響きで終わります。ブラームスさんに訊く事は出来ませんが、少しずつ歳を重ねると彼の思いに共感出来て来ます。明るい響きの後に必ず訪れる諦念の響きの中に声上げずに泣いている50過ぎの男の背中が浮かびます。人生を省みたり、残された人生を少し意識し始めたり。その分、どこか無理してはしゃいでいる様な3楽章の愉悦さが逆に浮き立った存在に見えます。

指揮者にとり、とても難しいこの作品を巨匠達と共に紡いで来たN響の胸をお借りして演奏出来る事の緊張感と喜びを同時に感じつつ指揮台に立ちたいと思います。三浦さんとの共演も待ち遠しいです。

下野竜也



by Naoya Yamaguchi (Studio Diva)



※ヴォルフガング・サヴァリッシュ
ドイツを代表する世界的指揮者であると同時に卓越したピアニスト。1964年、NHK交響楽団の招聘で初来日以来、N響への客演のほか、ほぼ毎年のように来日した、日本でも馴染みの深い巨匠の一人。



©Takashi Iijima

アルカスSASEBO開館20周年記念事業 | ジャパネットPRESENTS 佐渡裕 指揮 × シエナ・ウインド・オーケストラ

シエナ・ウインド・オーケストラ首席指揮者

佐渡裕 特別インタビュー

佐渡裕×シエナ・ウインド・オーケストラのゴールデン・コンビによる公演が、13年ぶりにアルカスSASEBOで実現します！誰をも虜にしてしまう佐渡×シエナのステージに期待が高まる中、公演に向け佐渡裕氏にお話を伺いました。

2020年、創立30周年を迎えたシエナ・ウインド・オーケストラ。その魅力とは
も、凄く高い技術を有していること、そして音楽の愉しみや楽器を吹くことへの喜びが溢れていること、この2面性を持ち合わせていること、でしょうか。もちろん吹奏楽コンクールのような難しい作品を演奏することも大切ではありますが、ポップ系の曲を演奏したり、みんなが知っている曲を演奏してお客さんが手拍子をしてくれたり、オーケストラとして一番身近な楽団であることを大切にしようとして僕とシエナとの間でずっと言ってきました。だから曲目の中には少し笑いがあつたり親しみやすいメロディがあつたり、そうした想いを込めながら活動しています。また僕が最初に振った時から、アンコールではスーザの《星条旗よ永遠なれ》を、お客さんの中で楽器を持って来られた方に舞台上があつてもいい一緒に演奏しようという提案してきました。楽器が吹けることを誇りに思えたり喜びに思えたり、そうして想いをプロもアマチュアも境界線なく共有しようとしてこれまでもやってきました。

シエナとの初めてのステージ
1997年にゲスト・コンダクターとして《アルメニア・ダンス》の作曲家アルフレッド・リードさんも会場に来ていただいた際の演奏会でした。リードさん自身も指揮をされる方でしたが、自身の演奏会も含めこんなに素晴らしい演奏はなかったと評価をいただいたことが僕にもシエナにとっても凄く大きな出来事でも、よいスタートが切れたと思っています。

シエナとの絆
シエナの経営状況があまり思わしくない時に、助っ人で指揮をしに行ったのが一緒に活動することになったきっかけです。そこでメンバーと話し合ったのは「お客さんが喜んでくれるというのは何なのだろうか」ということ。選曲や演奏会の構成を含めみんなで考えよう、そこからスタートしました。中学校と8割ぐらいの学校

に吹奏楽部があつて、年々卒業しては入學する部員がいますが、彼らがみんなクラシックの演奏会に足を運んでいるかというと、そんなことはありませんし、楽器を続けているかという点も恐らく大半の人が部活を辞めたから楽器も辞めている。仕方ないことかもしれませんが、やはりコンサートホールで生の音楽を聴くというのはとても魅力的なこと、人生において一回の演奏会が思い出になったり励みになったりする。だから僕とシエナが活動をしようとして、「生の演奏会に足を運んでみたい」「シエナの演奏会に行ってみよう」、あるいは「押し入れから楽器を出して吹いてみたい」という思いも入るから始めました。2002年の首席指揮者就任も、実は僕の方から立候補をしたんです。同じ年に兵庫県立芸術文化センターの芸術監督に就任するのですが、芸術監督になつてもシエナとの活動は続けていきたいと思つている、シエナの首席指揮者になる、とみんなの前で宣言しました。シエナのメンバーも喜んでくれましたし、僕にとってもそれほど大切なオーケストラなんです。

僕が吹奏楽を指揮することを意外に思う人もいるかもしれませんが、僕自身のベースは中学時代の吹奏楽体験であり、吹奏楽を指導してきたことがシエナを指揮することに繋がりました。いわば僕の音楽体験の原点みたいなところ、僕とシエナの関係、あるいは僕と吹奏楽の関係があると思っています。

吹奏楽の醍醐味
全国に吹奏楽部が存在して、楽器に触れている子どもがかなりの数いるというのは、世界的に見ても非常に珍しい。日本にいると見えてこないですが、このように音楽に触れる機会があるということは、国として凄く誇れる文化だと思います。僕自身も中学生の頃から吹奏楽部に入つて、こうしてプロの吹奏楽部を指揮するようになりまして、だから吹奏楽部で初めて楽器を持ちたり、あるいは初めて楽器を持つ人を教えたりと、楽器を持つて僅か数ヶ月のメンバーと一緒に音を創る楽しさや苦しさを味わう経験ができるということ、今の自分にとって

でも大きな宝物でした。もちろんシエナのメンバーも、そのことをよくわかつて活動しています。

佐世保での思い出
中学生の時、初めての演奏旅行で訪れたのが佐世保でした。昭和51年京都府少年合唱団と佐世保児童合唱団との交流演奏会。とにかく嬉しくて、今でも当時の仲間と集まると佐世保の演奏旅行の話が出るくらい、凄く思い出深い記憶です。シエナ(2008年)とも兵庫芸術文化センター管弦楽団(2015年)とも来ましたが、人が温かくて優しく、食べ物も美味しかったというのが心に残っていますね。

佐世保で楽器を演奏する子どもたちへ
人と一緒に演奏することは喜びであるけれども、当然難しさもあります。なぜなら、そもそも人はみな異なつていて、考えていることも与えられた役割も違い、その中で意見を言ったり何か主張をしたりぶつかり合つたりしている。だからこそお互いが何を思っているのか、何を感じているのか聴き合わなければいけない。オーケストラの素晴らしいところは、人と人が協力し合つて一緒に生きていることが楽しいこと。素晴らしいことであり、それを証明するために神様は音楽を与えてくれたと僕は思っています。今はコロナの影響で活動ができていないかもしれませんが、そんなときこそ人と人の繋がりを失わないで欲しい。音楽をすることで人に勇気を与えたり、一緒に生きていることに喜びを感じたり、僕らには大切な役割があるのかなと思います。

佐世保のみなさんへのメッセージ
信頼関係で結ばれたシエナと久々に佐世保に伺います。チームワークの良さ、プロの技をぜひお楽しみください。初めて吹奏楽やオーケストラのようなクラシックの演奏会に足を運ぶ方も聴きやすさや、音楽を聴きに来て良かったと思えることがいっぱい起るような演奏会になりますので、ぜひ気軽にお越しください。

アルカスクラブ会員謝恩企画決定！

アルカスSASEBO 開館20周年記念事業 NHK交響楽団 佐世保公演

2021年3月6日(土) 開場16:00 / 開演17:00 大ホール

【全席指定】S席8,000円 A席6,500円 B席5,000円 学生各席2,000円 (当日500円増)

〈出演〉下野竜也(指揮)、三浦文彰(ヴァイオリン)、NHK交響楽団(管弦楽)

〈予定曲目〉交響曲 第4番 ホ短調 作品98(ブラームス)、ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品77(ブラームス) 「プロメテウスの創造物」より序曲(ベートーヴェン)

指揮者 下野竜也によるプレトーク開催！ 普段は聞く事が出来ない指揮者の生の声で、曲の聴きどころなどをご紹介します。オーケストラ初心者の方も参加して、本番をより一層お楽しみください！

3月6日(土) 16:25 ~ 16:40 ※参加はチケット購入者に限ります。

アルカスクラブ ゴールド会員先行発売 11月28日(土) アルカスクラブ オレンジ・ホワイト会員先行発売 12月5日(土) 一般プレイガイド発売 12月12日(土)

文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会

圧巻のシエナ・サウンド！ 佐渡×シエナ 13年ぶり、待望の佐世保公演

ジャパネットPRESENTS 佐渡裕指揮シエナ・ウインド・オーケストラ

2020年に創立30周年を迎えたシエナ・ウインド・オーケストラ。首席指揮者・佐渡裕とのゴールデン・コンビで、興奮と感動のステージをお届けします。日本最高峰のプラスの響きを体感ください！

2021年1月17日(日) 開場13:00 / 開演14:00 大ホール

【全席指定】S席6,500円 A席5,500円 学生各席2,000円 (当日500円増)

〈出演〉佐渡裕(指揮)、シエナ・ウインド・オーケストラ(吹奏楽)

〈予定曲目〉オリンピック・ファンファーレ&テーマ(J・ウィリアムズ) 吹奏楽のための第一組曲(G・ホルスト) ほか

共催：KTNテレビ長崎

アルカスクラブ先行発売 10月17日(土) 一般プレイガイド発売 10月24日(土)



©Hikaru ☆

ゲルハルト・オピッツ インタビュー

ドイツ・ピアノの正統派を代表する演奏家として国際的にその名を知られているゲルハルト・オピッツ。音楽解釈におけるこの楽派の流れは、オピッツ自身の師であるウィルヘルム・ケンプに繋がり、そしてその源流は、リストやベートーヴェンにまで直接遡ります。記念すべきベートーヴェン・イヤーに、3大ピアノ・ソナタ「悲愴」「月光」「熱情」を1日で聴けるという贅沢なリサイタルを開催する巨匠オピッツにプログラムやドイツの状況について伺いました。

ベートーヴェン生誕250年で 3大ピアノ・ソナタという プログラムについて

今回、有名なタイトルが付いた3つのソナタを演奏します。ベートーヴェンが残したピアノ・ソナタは全部で32曲あり、そのほとんどは題名が付けられていませんが、だからといって作品として面白くないだとか、大事に扱われなかったということはありません。32曲それぞれが美しい宝石のようで、作曲家が込めた色とりどりの芸術的なメッセージが輝いているのです。その一方で、この3つのソナタは作曲家や出版者によって個々のタイトルが付けられたために、他のどの作品よりもはるかに有名になってしまいました。3曲とも幅広い詩的要素、目覚ましい発展性、そして人生の歓びといった性質から特徴づけることができます。

「悲愴」は、特に第1楽章においてその悲痛さを提示しています。続く第2楽章で默想的な様相を呈し、最終楽章では生き生きとした驚きに満ちた物語が語られ、冒頭の重たさからは抜け出したように感じられます。「月光」は3つの対比的な描写が組み合わされたソナタですが、月光そのものと直接的な関連はありません。この「月光」というタイトルは出版者によって付けられたもので、おそらく楽譜の発行部数を伸ばす意図があったのでしょう。ベートーヴェンも承諾していませんでした。

この有名な第1楽章は、ベートーヴェンが親しかった友人の死に直面し、そこからインスピレーションを得て作曲しました。その意味でこの作品は葬送音楽とも言えるのです。「熱情」は、特に第1、3楽章において溢れんばかりの情熱が大部分を占めており、第2楽章が提示する平穏や思慮深さとの対比が見事です。以上3曲のソナタに加え、「6つのバガテル」ではベートーヴェンが晩年に音楽的言語をより一層進化させたことがお分かりいただけるでしょう。未来へと羽ばたいていくかのようなこの作品は、弦楽四重奏曲の最後の5曲や第九交響曲（同時期の1824年に作曲されました）

ドイツの現在のコロナ状況

ドイツをはじめ全世界において、ここ数か月間の最優先事項は、この新しいウイルスの拡散を防ぐための効果的な措置を講じることでした。これは極めて妥当な判断であり、とても理にかなっていると思います。新型コロナウィルスによって人々が苦しめられ、その多くが命を落とし、そして何十億もの人々が経済的な不安に直面していることを思うと胸が痛みます。近い将来、治療法が確立しワクチンによって私たちの命が守られることをただただ待ち望んでいます。健康へのリスクを最小限にするために、多くの国では特に室内において、大人数の集まりが禁止されています。もう5か月にもわたってコンサートやオペラの公演が中止されていますが、これは第二次世界大戦以降初めてのことです。

ベートーヴェン・イヤーの今年、1月にはベートーヴェンの生地ボンで2公演行い、4番のピアノ協奏曲を演奏しました。2月の終わりからだんだんと、そして3月からはほとんどの時間を自宅で過ごすようになりました。美しい森、湖や小川に囲まれた自宅、新しいレパートリーを勉強したり、長年弾いていなかった曲をもつ一度弾いてみたり、交響曲やオペラのスコアを勉強していました。また読書もたくさんして、古典作品のほかに現代の作家も読みました。7月の中旬になり、ようやくコンサート活動を再開させる機会に恵まれ、シチリアのタオルミーナ古代劇場で

3曲の協奏曲を演奏しました。数千人を収容できる美しい野外の円形劇場からは、エトナ火山の山頂をはっきりと見渡すことができます。この会場で、ベートーヴェンの第1、3、5番のピアノ協奏曲を演奏しました。野外のイベントの方が感染リスクが低いだろうと、来場者にも受け入れられているようです。一方でこのハイエロン州では、室内でのイベントは最大200人まで許可されています。これまで長年行ってきたような形で、一切の制限なく文化的イベントが開催できる日がくるまで、今はまだ待つことしかできません。そして、そのためには大きな忍耐が必要です。健康に気を配りながら、お互いに支え合ひましょう。

今回2回目となる 佐世保についてお客様へメッセージ

数年前に佐世保を訪れた時の楽しい思い出が、まるで昨日のこのように鮮やかに蘇ります。何よりもまず、コンサートホールが素晴らしい、聴衆の皆さんが集中して聴いてくださったことに感動しました。コンサートが終わった後は数日ゆっくりできたので、街歩きを楽しみ、近郊の名所も訪れました。弓張岳に出かけた時のことは今でもよく覚えています。妻と、私たちの友人で作曲家の藤家淳子さんと一緒に見たあの壮大な景色は、今でも忘れられません。小値賀島にも2日間滞在し、島中を自転車で探検しました。残念なことに今年にはコンサートの前後で自由な時間が取れないのですが、佐世保でベートーヴェンを演奏できることが本当に楽しみです。私の中にあるベートーヴェンの音楽への情熱を佐世保の皆さんと分かち合えたらと思っています。一緒にベートーヴェンの温かな優しさから元気をもらいましょう。



©Concerto Winderstein

オピッツの3大ソナタ「悲愴」「月光」「熱情」！
ゲルハルト・オピッツ ピアノリサイタル
ドイツ・ピアノの正統派として名高いゲルハルト・オピッツがベートーヴェンの3大ピアノソナタで再び佐世保に！

11月23日(月・祝) 開場14:30 / 開演15:00
■大ホール
【全席指定】S席5,500円 A席4,500円 学生各席2,500円
(当日500円増)

会場およびチケット料金が変更となりました。

(出演) ゲルハルト・オピッツ(ピアノ)
(予定曲目) 《オール「ベートーヴェン」プログラム》
ピアノソナタ第8番 八短調 op.13 「悲愴」 6つのバガテル op.126
ピアノソナタ第14番 嬰八短調 op.27-2 「月光」 ピアノソナタ第23番 八短調 op.57 「熱情」



NBC Classic

チケット好評発売中

Chamber Soloists Sasebo



音楽監督 豊嶋泰嗣 アルカスSASEBO オリジナル室内オーケストラ チェンバー・ソロイスト・佐世保 インタビュー

「音楽でまちをもっと元気に！」を合言葉に、全国・世界へ佐世保を発信する、アルカスSASEBOのオリジナル室内オーケストラ「チェンバー・ソロイスト・佐世保」。今年で5回目となる公演を前に、音楽監督の豊嶋泰嗣氏にコロナ禍での音楽活動の様子や今年のプログラムについて、インタビューを行いました。

Q 新型コロナウィルス感染症により世界中の人々が多大な影響を受けています。「アルカスSASEBO」ジュニアオーケストラ第8回定期演奏会」でのジュニアオーケとの初共演もありませんでしたが、新日本フィルハーモニー交響楽団のテレワーク動画は大きな反響がありました。コロナ禍によるクラシック音楽への影響、「ご自身の状況はいかがですか」。

まずはこの新型コロナウィルスにより亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、医療現場で治療に尽力されている医療従事者の方々に感謝の意を表したいと思います。オーケストラという密にならないと出来ない活動が制限されることはある意味仕方の無い事ですが、ジュニアオーケストラとの共演はとても楽しみにしていたので残念でなりません。一方で、クラシックの演奏会はプロのオーケストラの緻密な検証などによりその演奏会自体に感染のリスクはほとんどないということが明らかになっています。徐々に通常の演奏会が出来るようになる日を



©中倉社志朗

ゆっくりと待ちたいと思っています。自粛期間中はパソコンを使ってYouTubeに過去の動画をアップロードしたり、読書したり、その感想をnote*に書いたり、普段あまりやらないような事をやって過ごしていました。また、テレワークの動画撮影や動画によるレッスンなど、今まで全く思いもよらなかったやり方で演奏することに初めは戸惑いましたが、それももう日常になりつつあり、環境に慣れるのは早いなあというのが実感するところです。

*文章・写真などを配信するウェブサイトを

Q 今年のチェンバー・ソロイスト・佐世保の公演プログラムを考へるにあたり、少なからず新型コロナウィルスの影響があったと思います。プログラムについて聴きどころなどお聞かせください。

プログラムに関してはコロナの影響というものが

はあまりなかったのですが、あえて関連付けるとすれば自粛期間中に読んだ武満徹さんの本の影響で、「ア・ウェイ・ア・ローン」という曲を入れたという事です。ベートーヴェンは弦楽合奏のオリジナルの曲が無いので、どうせ編曲してするならば皆さんが良く知っていて我々もオーケストラでたくさん弾いた事のある交響曲をする事にしました。バッハはやはりバロックのレパートリーとしてどうしても外せないと思い、チェンバロ協奏曲をヴァイオリンに編曲したものを取り上げます。一曲目のフーガはベートーヴェンがバッハの曲を編曲したものです。こうしてみると、今回のプログラムは全て編曲によるものということになりますね。武満さんの曲も元はカルテットの為に書かれたものをご自身で弦楽合奏に編曲したものです。

Q 《ベートーヴェン》交響曲第7番は弦楽合奏版での演奏となりますが、原曲のオーケストラ版との違いや聴きどころをお聞かせください。

過去に一度だけ弦楽合奏の版を演奏した事がありますが、それほど違和感なく演奏出来たという記憶があります。弦楽器の音色の多彩さと、打楽器的な表現も出来るという表現力の豊かさが実証されると思います。どうぞお楽しみ！

Q 今回で5年目、通算5回目の公演となり、ひとつの節目ともなりますが、今後チェンバー・ソロイスト・佐世保のどんなところに注目していただきたいですか。

5年はあつという間ですが、その度に音がまとまっていく感じがしていて、そろそろレコーディングをしてもいいかなと考えています。多分10年くらいでレパートリーが一周すると思います。次々とチャレンシングを取り組みをしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします！

アルカスSASEBOオリジナル室内オーケストラ チェンバー・ソロイスト・佐世保

12月6日(日) 開場13:30 / 開演14:00
■中ホール

【全席指定】一般6,000円 学生3,000円(当日500円増)

(出演) (音楽監督・ヴァイオリン/新日本フィル・ソロ・コンサートマスター) 豊嶋 泰嗣 (ヴァイオリン) 東 珠子、漆原啓子、小西果林、柴田夏未、清水颯輝、戸上真里、田村安紗美、丸山 詔 (ヴィオラ) 安保恵麻、藤村知史、前山 杏 (チェロ) 佐々木賢二、橋本瑠音、山本裕康 (コントラバス) 石川 滋、岡本哲史 (チェンバロ) 中野振一郎



©中倉社志朗

「音楽で街を元気に！」を合言葉に、日本を代表するオーケストラの首席奏者やソリストなどが集結し、佐世保から全国へ一流の演奏をお届けしているオリジナル企画。第5回目となる今回は、ベートーヴェンの作品をはじめ、弦楽オーケストラの魅力をつまびらりとご堪能いただけるプログラムを予定しています！どうぞご期待ください！

(予定曲目)

『平均律クラヴィア曲集』第1巻第22番 変ロ短調 BWV867
※弦楽五重奏版(J.S.バッハ/ベートーヴェン編)
3つのヴァイオリンのための協奏曲 二長調 BWV1064R(J.S.バッハ)
ア・ウェイ・ア・ローンII (武満徹)
交響曲第7番 イ長調 作品92 ※弦楽合奏版(ベートーヴェン)



文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会

チケット好評発売中

『JAZZの歴史と佐世保』後編

The history of Jazz and Sasebo



故山下ひかる氏

2015年9月、アルカスSASEBO文化茶話にて、今は亡き佐世保JAZZの牽引者 山下ひかるさんが語ってくださったジャズと佐世保のこと。前編ではジャズの発祥と、ジャズと佐世保のことについてご紹介しました。後編では、ジャズの遍歴を辿ります。

ニューオーリンズジャズと デイキシーランドジャズ

スタイルの違いですが、黒人たちがやっていた音楽を「ニューオーリンズジャズ」、白人たちがやっていた音楽が「デイキシーランドジャズ」と言われています。時が経ち、シカゴやニューヨーク経由で広まったニューオーリンズジャズが、1940年代以降おもに白人によってリバイバル(再評価・再流行)しました。これを「聖者の行進」はニューオーリンズジャズの有名な曲です。トランペットやトロンボーンの特徴です。クラリネットとトロンボーンとトロンボーンが同時に演奏する。これはクラシックのバッハの作風から影響を受けているとも言われています。その当時は、ブラスバンドの曲が多くて、マーチ(スーザ作曲の曲など)を取り入れた音楽がスタートしました。

シカゴへの移動 「シカゴジャズ」

第一次世界大戦が1914年に始まり、「ストリーヴル」(公営の娼婦の館)がなくなり、仕事全部なくなると、ミシシッピ川を遡ってシカゴに向かいました。シカゴでは1920年頃から、禁酒法がアメリカで始まり、アル・カポネをはじめとするギャングたちが地下で酒を売って、飲んでいました。そこにミュージシャンたちにとって演奏する店という職場がありました。ギャングの経営する店で演奏されていた音楽が「シカゴジャズ」と言われています。これはニューオーリンズジャズと似通った音

楽です。レイ・アームストロング(愛称サッチモ)が船でシカゴに戻るときにトランペットソロで素晴らしい演奏をしたと言われています。そこからトランペットソロが発展していきます。



シカゴからニューヨークへ (白人ミュージシャンや 欧州知識人から評価)

ジャズがカンザスシティやニューヨークでも演奏されるようになり、白人も「ジャズってちょっと格好いいね」と思いはじめます。「俺たちもしてみようか」という白人も出てきます。黒人たちも「ニューヨークに行くと宿命的に演奏したいものが出てきて、だんだんニューヨークに移りたくなります。ジャズがシカゴからニューヨークに行くことによって世界中に広まります。」

モードジャズ (クラシックや民俗音楽へのアプローチ)

1955年から60年ぐらいの間に、いろんな人がたくさん曲を書いて、レコーディングをして、あちこちで演奏しました。そうすると、違うことをやることこそ彼らの宿命みたいなもので、それまで定番のコード進行を使って演奏していましたが、モード(音階を応用した旋法)というのを利用して新しい発想で展開できないかというんな実験をしました。モードジャズと言います。かなり自由度が増えました。

クロスオーバー(交差) フュージョン(融合)

この後、ジャズは貪欲でさまざまな要素を入れて形を変えていきます。ジャズロック、ラテンジャズ、ボサノヴァ、フリージャズなど様々あります。1965年を過ぎると、ロックの曲が増え、クロスオーバー(ジャンルを越えて交差)します。それからフュージョン(融合)。ロック、クラシック、さまざまな要素をジャズの中に取り入れていろんな表現をしました。

新伝承派の巻き返し〜現在

一方には、あまりにもジャズの魂がなくなりつつあるのではないかと、改めてジャズの形を再構築した人たちもいます。現在は、デイキシーランド、スウィング、ハード・バップ、ビ・バップ、ジャズロック、フュージョン、ボサノヴァ、全部あります。ジャズは、どんどん先に進んでいく音楽なのでさまざまな音楽と融合しながら形作っていきます。

「ジャズ」の歴史



それぞれのスタイルが現代にも引き継がれている

からフロントに出てきて、皆で演奏を競い合う。おのずと高度なことに挑戦してました。これを「ビ・バップ」と言います。第二次世界大戦が終わった1945年以降「ビ・バップ」は花開いたと言われています。

クールジャズ
(西海岸の白人を中心に)

ビ・バップが、バリバリ吹いて、喧嘩を漂わせる、うねりような感じまで発展して行っちゃった。するとやっぱり反動が出ます。次は「クールジャズ」。音をちょっと抑えて、ハーモニーを重視して、譜面を書き、アレンジをしました。更に、ウエストコーストには、ハリウッドがありますから、その映画音楽を作るため、演奏するためにミュージシャンがたくさんいました。西海岸の方は白人の人たちによるクールジャズを発展させたウエストコーストジャズが盛んになりました。

ハード・バップ (東海岸の黒人を中心に)

クールジャズがある一方、もっと黒人に根差したアーシー*な曲、黒人のことをそのまま出してジャズに乗せる「ハード・バップ」があります。ビ・バップと比べて、泥臭いコッテリした感じの黒人っぽい音を使っています。

このハード・バップは、1960年頃、日本にアメリカからアート・ブレイキーのバンドが来た時に大ヒットしました。「坂道のアポロン」という有名なアニメのテーマ曲にもなった「モーニン」という曲、これが日本で大ヒットしました。蕎麦屋の出前のおじさんが、これを歌って蕎麦の出前をしていたというくらいポピュラーな曲になりました。

*アーシー(土(大地)を思わせるさま。主に黒人音楽のリズム・ゴスペル・ソウルなどの野性的で素朴なサウンド)

2015年9月11日 アルカスSASEBO文化茶話「JAZZの歴史と佐世保」山下ひかる氏のお話 より抜粋

ランチタイムコンサート Vol.23 ~ピアノ&ヴァイオリンで贈るロマンの名曲 in JAZZ~

平日のお昼間に気軽に楽しんでいただく1時間のコンサート。
盟友・森下滋と真部裕のレパートリーはジャズ・ポピュラー・映画音楽と、ジャンルは縦横無尽。2017年にアルカスSASEBO初登場のステージが大好評につき、再び来佐決定!ふたりの息の合った演奏をお楽しみください!

2021年2月5日(金) 開場11:00 / 開演11:30(終演予定12:30)
■中ホール

【全席指定】アルカスクラブ会員500円 一般700円 ペア券1,000円

〈出演〉森下 滋(ピアノ)、真部 裕(ヴァイオリン)

〈予定曲目〉愛の挨拶(エドワード・エルガー)、I Got Rhythm(ジョージ・ガーシュウィン)
ニューシネマ・パラダイス(エンニオ・モリコーネ)、はじめて(真部 裕) ほか



文化庁文化芸術振興費補助金
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

アルカスクラブ
一般プレイガイド
同時発売: 11月7日(土)



ビ・バップの誕生 (踊りの音楽から聴く音楽へ)

グレン・ミラー、ベニー・グッドマンなどのバンドや、トミー・ドーシー、ジミー・ドーシーという優秀な意欲に溢れたミュージシャンは、「もう踊りのバックばかりでは面白くない」「譜面通り吹いても面白くない」と奮起し、何か面白いことをやろうと、メロディやコード、リズム、ハーモニーを研究していました。歌手のバック

そうするうちに今度は大恐慌。1929年ウォール街の大暴落です。全体的にアメリカも世界も落ち目になって不況になると、人々は派手な曲よりも落ち着いた曲を聴きたくなり、スイートな曲が好まれます。バリバリの管楽器の編成ではなくボーカル入りのバンドスタイルができあがってきました。5年程で不況が収まりアメリカの景気が良くなる頃、ラジオ放送が開始。これにより、電波で世界中に音楽が伝わるわけです。このころに、世界中にスウィングジャズが広まります。グレン・ミラーやベニー・グッドマン、一番ジャズではお馴染みの人の曲だと思えますが、それらがラジオに乗ってアメリカ中、世界中にも広まり、やがて日本にもやってきました。

スウィングジャズ〜全世界へ

「真珠の首飾り」を聴くと、耳障りがいいし、非常に踊りやすい。スウィングジャズというのは基本的にダンスミュージックです。ダンスの後ろで演奏しているのが中心の演奏形態となりました。チークダンスのようなバラードもあります。有名な曲では、「ムーンライトセレナーデ」や、パンパン踊れる「SING SING SING」。スウィングジャズにより、ジャズは世界中に広まりました。

『情熱』

作家の瀬戸内寂聴さんは、生きる上で大事なことは何かと問われると、「情熱です」と答える。

スタンダードの墓碑銘「書いた 愛した 生きた」を、文字通り地でゆくように貫いてきた寂聴さんの、生命の動力が、この熱い思いだったのだろう。

寂聴さんのみならず、大成した実業家や学者、芸術家、スポーツマンなど、自らのモットーに「情熱」を掲げる人は多い。

では「情熱」とは何ぞや。

例えば広辞苑は、「情熱」激しく燃え立つ感情」。上田万年の『大字典』では、「情熱」情火「情火」激しき感情の力」とある。その通りだろうが、まことにあっけない。

おそらく昔の日本では、「情熱」という言葉は日常語ではなかった。「情熱」が、私たちの言葉になったのは、「passion」の訳語として定着した近代以降のことに違いない。

passionの意味は幅広い。英語辞典ではランダムに次の通り。

強い感情(これは国語辞典と同じ)、熱狂、熱望する対象、悪習(どうしてもやめられない信条や行動)、情欲、夢中になるもの、受難(キリストの)、好き嫌いの強い感情、決意、熱烈な愛や強い興味の対象、セックス、受難曲、生得の適性などなど。

「情念の中には責め苦のようなものがあって、言葉がそれを支持している。有名な実例。すなわち愉悦、怒り、そして恐怖に対応した愛、野心、そして吝嗇(アラン『定義集』)。つまり、passionは、私たちが「情熱」という言葉に感じるプラス面ばかりでなく、マイナス面も含んでいる。

愉悦、愛、野心がプラス面なら、怒り、恐怖、吝嗇はマイナス面だろう。アル中やギャンブル依存症も情熱なのである。

こしし せうじょう
小西宗十

1942年長崎県北松浦郡小値賀町に生まれる。中学、高校を佐世保で過ごし、1967年東大仏文科卒業。21年間、講談社出版研究所に勤務し編集に従事。1988年佐世保に帰郷。

passionはpassive(初歩の英文法「受動態」)と同根、つまり精神の受動を表す。外部からの働き(能動)に応じて反応する精神の作用。デカルトはそれを六つに分類する。①驚き ②愛 ③憎しみ ④欲望 ⑤喜び ⑥悲しみ。

フランスの哲学者アランは、情念(情熱と同じ)を的確に定義する。「情念の中には責め苦のようなものがあって、言葉がそれを支持している。有名な実例。すなわち愉悦、怒り、そして恐怖に対応した愛、野心、そして吝嗇(アラン『定義集』)。つまり、passionは、私たちが「情熱」という言葉に感じるプラス面ばかりでなく、マイナス面も含んでいる。

情熱は、小説、演劇、音楽など、あらゆる芸術のテーマであり推進力だ。オペラのアリアは、「情熱」の絶唱にほかならない。

寂聴さんという「情熱」は、人間力を最高に引き出すプラスの情熱だ。しかし、今まで知らなかったが、仏教の「煩惱」の英訳はpassionsなのである。

小西宗十(エッセイスト)

祝!開館20周年

20年間の思い出 vol.2

アルカスSASEBO

2020年度アルカスSASEBOは開館20周年を迎えます。職員から寄せられた20年間の思い出話をご紹介します。2回目は2010年度(開館10周年)～2015年度(開館15周年)です。

2014年10月2日 ファミリーコンサート in 宇久



2004年から開催しているロビーコンサートの企画運営を行っていただいている運営委員の皆さんと一緒にアウトリーチコンサートに伺いました。コンサートでは宇久の合唱団の皆さんにもご出演いただき、とても温かい素敵なコンサートになりました。若干酔いもありましたが、美しい自然と人柄にふれることができ、忘れられない経験となりました。【事業部R】

2016年1月11日 新春“KOTO”はじめ～箏デュオの響き～ Dual KOTO×KOTO



当時6才の娘と一緒にコンサートを聴きに行きました。娘が箏の魅力に惹かれ1年ほどお箏を習いたいと言い続け、今ではお箏を習い始めて3年が過ぎようとしています。この様なきっかけをくださったKOTO×KOTOのお二人に感謝するとともに、可能な限り、日本の伝統楽器に携わってほしいと思います。【事業部K】

2016年2月21日 開館15周年記念事業 オペラ「夕鶴」



大がかりな周り舞台があり、地元子どもたちがプロと共演する場面もあり大変でした。【事業部K】

西海讃歌の作曲家であり落成記念式典でも指揮をされた團伊玖磨氏の名作オペラを佐世保で鑑賞できることに喜びの声を数多くいただきました。主役のつづを演じた故佐藤しのぶさんも大変感激されていたことを昨日のこのように思い出します。【事業部R】

2016年3月5日～3月8日 開館15周年記念「アルカスSASEBOとジュニアオーケストラのあゆみ」展



「アルカスドリームオーケストラ 新日本フィル×ジュニアオーケストラ」の関連企画として実施したパネル展。15年間の公演一瞥・抜粋された公演チラシの展示、新日本フィルとジュニアオーケストラの活動紹介を行いました。準備段階より、職員同士で思い出話や裏話で盛り上がり、知らない時のことも聞けることがとても楽しかったです。お客様もこんな風に、懐かしさを感じながら楽しんでくださるんだろうなと思いました。【事業部K】

2016年3月6日 開館15周年記念事業 新日本フィル×ジュニアオーケストラ「アルカスドリームオーケストラ」



新日本フィルとの拠点契約の最後ということで実現した新日本フィルとジュニアオケの共演。この年は、夏にも下野竜也さん指揮で演奏し、いくつか課題も出ていた中で、年度末に秋山和慶さんの指揮で演奏するというので、講師の先生方も私も不安を抱えながらやってきました。案の定?新日フィルと合わせる前のジュニアオケだけのリハが伸びてしまいましたが、秋山先生が妥協せず、真剣に向き合ってください、貴重な経験ができました。終演後には、これまで指導していただいた団員の方々からお話をいただいたり、子どもたちと写真を撮ったり、団員たちと新日フィルの皆さんをお見送りしたのも記憶に残っています。【事業部K】

アルカスSASEBOでは「させば振興券」をお使いいただけます!

- 対象 | チケット
オリジナルトートバッグ
クリアファイルバッグのご購入
 - 有効期限 | 令和3年1月10日(日)まで
 - 利用限度 | 1回あたり10万円まで
- ※振興券のみでのご購入では、お釣りは出ません。

開館アルカス20周年記念グッズ販売! 好評発売中



第1弾 オリジナルトートバッグ
定価:1,500円(税込)
アルカスクラブ会員:1,000円(税込)



第2弾 クリアファイルバッグ
定価:300円(税込)
アルカスクラブ会員:200円(税込)

持ち手をミシン目で切り離すとクリアファイルになります。